

# テレビ

テレビを1日4時間30分使ったとき、  
1日のCO<sub>2</sub>排出量は120gです。

※日本エコシステム「節電ネット 1年間でハウマッチ」より、年間排出量の1日あたりの平均値  
(46V型フルHD液晶テレビ、年間消費電力量：120kWh)

液晶や有機ELなどのテレビは、画面サイズが大きいほど、消費電力が多くなるため、適切な大きさをえらぶことが大切です。

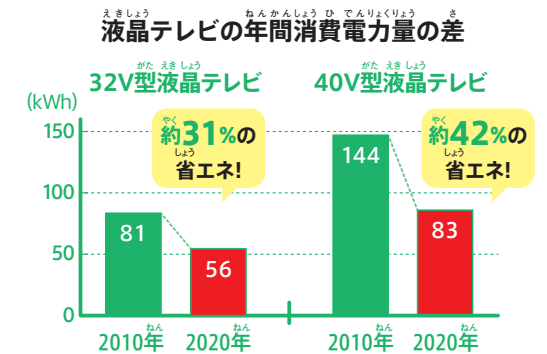
毎日の使い方では、見る時間をへらしたり、テレビの省エネ機能を利用したりするなどの工夫でCO<sub>2</sub>排出量をへらせます。



120g

## CO<sub>2</sub>ヒント

テレビは、性能と消費電力の  
バランスを考えてえらぼう



※家電製品協会「スマートライフおすすめBOOK 2021」より  
資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ」の機種一覧における  
単純平均値(2010年冬版/2020年版)

同じ画面サイズのテレビの場合、新しい製品のほうが年間消費電力量が少なくなっています。近年は、画面がきれいで大型のものが人気です。省エネ機能がすぐれていて、適当なサイズのをえらぶとよいでしょう。



# エアコン (暖房)

1つの家庭から出る、  
暖房の1日のCO<sub>2</sub>排出量は1700gです。

※温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ(1990~2020年度) 確報値  
家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量(世帯あたり) 暖房の項目(2020)より、年間排出量の1日あたりの平均値

冬は、暖房の使用がふえる午前8時から11時ごろと、照明などの家庭で使われる電力がふえる午後5時から8時ごろが、電力をいちばん必要とする時間帯です\*。

エアコンにおいては、買いかえや設定温度の工夫のほか、家の窓ガラスやかべを、熱の出入りをさえぎる断熱性の高いものに変えると、CO<sub>2</sub>排出量をへらせます。

\*九州電力「冬季における電力需要の1日の推移(夏季との比較)」より

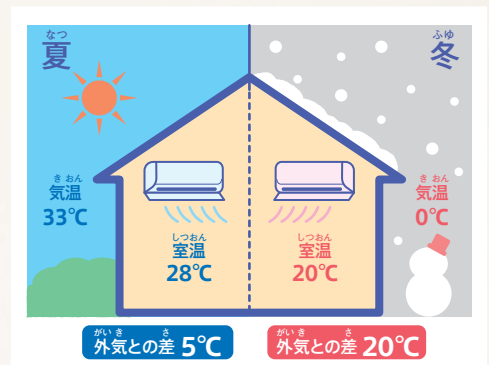
1700g



## CO<sub>2</sub>ヒント

冷房より暖房のほうがCO<sub>2</sub>排出量が多いのはどうして?

エアコンは、室温と外気温の温度差が大きいほどエネルギーを必要とします。冬のほうが外気温との差が大きく、消費電力がふえるため、CO<sub>2</sub>排出量が多くなります。エアコンのフィルターをこまめにそうじしたり、ドアやカーテンをしっかり閉めて室内に冷気が入らないようにしたり、衣類であたたかくする工夫をしたりすると、CO<sub>2</sub>の排出量をへらせます。





なるほど!  
だつたんそ  
脱炭素

# くらしと地球温暖化

地球温暖化の原因のひとつであるCO<sub>2</sub>は、毎日のくらしで排出されます。温暖化をふせぐためには、CO<sub>2</sub>排出量をへらしていかなければなりません。地球温暖化がすすむとどうなるのでしょうか。くらしをどう変えていくとよいのでしょうか。

## 温室効果ガスってなに?

温室効果ガスは、地球をあたためる性質を持つ、地球のまわりをとりまわっているガスです。CO<sub>2</sub>はそのうちの1つです。地球は、太陽からの熱によってあたためられていて、熱の一部は宇宙へにげますが、のこりは温室効果ガスに吸収されます。

温室効果ガスのおかげで、地球の平均気温は約14℃にたもたれていて、生き物がくらせる

環境になっています。もしも地球上に温室効果ガスがないと、地球の平均気温はマイナス19℃になってしまいます。

約250年前、産業革命が起こり、人の手による物づくりから、機械を使うようになりました。人びとは石油や石炭などの化石燃料をもやしてエネルギーとして使うようになり、生活は便利になりましたが、CO<sub>2</sub>をたくさん出すようになりました。それによって大気中のCO<sub>2</sub>がふえ、地球温暖化が引き起こされています。

### 産業革命前の地球

生き物が出すCO<sub>2</sub>を森林や海が吸収して、大気中のCO<sub>2</sub>はバランスがとれていた。

太陽の熱が地球にとどき、地表があたまる

### 現在の地球

人びとがくらしや産業で出すCO<sub>2</sub>がふえすぎて、排出と吸収のバランスがくずれてきた。

太陽の熱

宇宙へにげる熱が少なくなる

地表から熱が放たれる

温室効果ガスがふえて熱の吸収もふえ、地表にもどる熱が多くなった

熱の一部は宇宙へにげる

温室効果ガスが一部の熱を吸収し、地表にまたもどってくる

温室効果ガス

## 地球温暖化がすすむとどうなるの?

温暖化がすすむと、天候や食料への影響が出て、今までと同じようにくらすのはむずかしくなってしまいます。

海面が上昇して陸地がへる

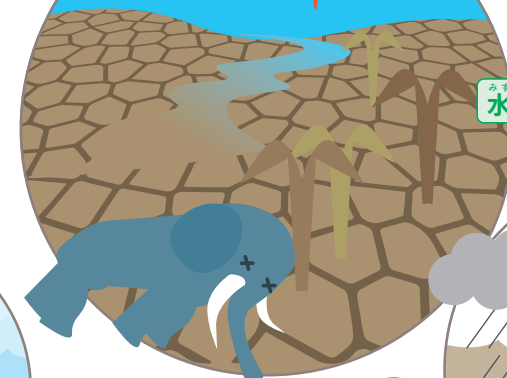


生き物がくらす環境の悪化

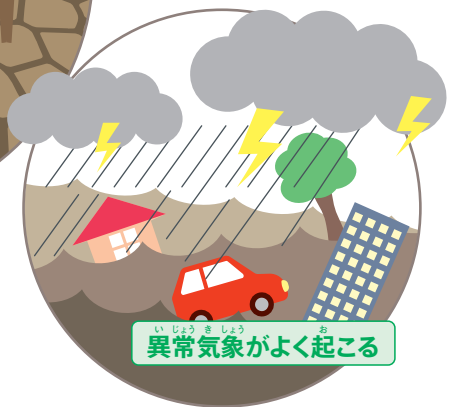
感染症がふえる



水や食料が不足する



異常気象がよく起こる



## 世界で目指す目標は1.5℃!

2015年にフランスのパリで、「パリ協定」がとりかわされました。世界各国で、産業革命より前とくらべて、気温の上昇を2℃よりひくたもつことを目標とし、できれば1.5℃におさえる努力をしましょう、という世界中でとりくむ約束です。

2018年にIPCC（気候変動に関する政府間パネル）という組織が「1.5℃特別報告書」を発表し、気温が1.5℃上がった場合と、2℃

上がった場合では、環境への悪い影響は大きなちがいがあるとしめました。1.5℃の目標が世界で意識されるようになりました。

2021年に発表されたIPCCの報告書では、2040年までに気温が1.5℃上がる可能性が50%をこえると予測されました。

よりよい社会へ成長しながらも、環境を守っていくことが、未来の持続可能な社会につながっていきます。CO<sub>2</sub>排出量をへらすために世界中でさらなる努力が必要です。

IPCC「1.5℃特別報告書」より

	1.5℃上がった場合	2℃上がった場合
農作物の育ちがわるくなり 食料不足の影響を受ける人の数	約3200万～ 3600万人	約3億3000万～ 3億9600万人
干ばつ・水不足でこまる 都市に住む人の数	約3億5000万人	約4億1000万人
洪水の影響を受ける人の数	2倍になる	2.7倍になる

気温がどのくらい上がるかによって予測される影響のちがいは大きく、気温が上がれば上がるほど、くらしにこまる人がふえてしまいます。